

夏期音楽講習会 2023 講師プロフィール

フルート講座 ～音色の作り方・使い方～ 素敵な音色で楽しく表情豊かに演奏しましょう!

大友 太郎 (おおとも たろう)



国立音楽大学附属高等学校 3 年在学中に東京文化会館新進音楽家オーディションに最年少で合格。同大学 1 年途中で渡独、パウル・マイゼン氏に師事。西ドイツ・デトモルト音楽院、ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラスで学ぶ。在独中バッハ研究の権威 H. ヴィンシャーマン氏率いるドイツバッハゾリストの一員として活躍。1981 年プラハの春国際コンクールファイナリスト名誉賞及びチェコ現代作品最優秀演奏者賞受賞。1982 年東独マルクノイキルヒェン国際音楽コンクールフルート部門邦人初の第 1 位受賞。現在、本学で教鞭をとる傍ら、各地で後進の指導にあたり、数多くの個性ある優秀な人材を世に送り出している。また、びわ湖国際フルートコンクール審査委員長、日本フルートコンヴェンションコンクール、アジアフルートコンクール、三田ユネスココンクール、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、仙台フルートコンクール他、数多くの審査委員を歴任。一般社団法人日本フルート協会理事、心に響くあたたかい音色とダイナミックな音楽性により「フルートの詩人」と称されている。本学特任教授、同附属中学校・高等学校校長。

弦楽アンサンブル講座

永峰 高志 (ながみね たかし)



©山本倫子

東京藝術大学卒業。NHK 交響楽団首席奏者として活躍する。在団中功績が認められ有馬賞を授与される。同団退団後 N 響メンバーによるアンサンブルとの共演等、ソリストとして活躍している。また、新日本フィル、仙台フィルなどのオーケストラにゲストコンサートマスターとして招かれ、好評を得ている。指揮者としても、シュトゥットガルト室内管弦楽団、仙台フィル、N 響団友オーケストラ、アンサンブル神戸を指揮し、その演奏は非常に高い評価を得ている。指導者としても、門下からはミュンヘンフィル、N 響、読響、都響をはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。現在、本学特任・招聘教授。

合唱講座

木島 タロー (きじま たろー)



本学講師(本学音楽教育学科卒)。米海軍契約教会ディレクター/ピアニスト。フジテレビ「オールスター合唱バトル」監修/編曲/指導、TBS 系「バナナマンのせっかくグルメ」「ベスコングルメ」など主題歌や、ローマ教皇来日オフィシャルテーマソング、テレビコマーシャルのコーラスなどで編曲、歌唱、録音指揮担当。Dreamers Union Choir (DUC) を率い、ジョン・レノン・ソングライティング・コンテスト(ニューヨーク)入賞。コーラスを人間の生活に必須の活動ととらえ、日々そばにある生活音楽としての合唱の普及をライフワークとしている。著書「歌って生き抜け命のコーラス」「6 色発声トレーニング」。一般社団法人パワーコーラス協会代表理事。国連英検 A 級。

日本歌曲講座

木下 牧子 (きのした まきこ)



東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学院修了。日本交響楽振興財団作曲賞ほか入選。オペラ「不思議の国のアリス」初演で三菱信託芸術文化財団奨励賞受賞。管弦楽、吹奏楽からピアノ曲まで幅広く作曲。とりわけ声楽はオペラ、音楽劇、合唱、歌曲などヴァリエティに富み、高い支持を得ている。主要作品に、オーケストラのための「呼吸する大地」、ピアノ・コンチェルト、吹奏楽のための「ゴシック」、合唱と管弦楽のための「たいようオルガン」、合唱組曲「方舟」、歌曲集「晩夏」他。出版・CD 多数。

●木下牧子公式サイト <https://kinoshitamakiko.com>

●YouTube チャンネル <https://www.youtube.com/user/OfficeAsai>

小泉 恵子 (こいずみ けいこ)



東京藝術大学卒業、同大学院修士修了。在学中に芸大メサイアにてソプラノソロ、その後、米国サンフランシスコ音楽院に留学。帰国後、第1回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位(1990年)。山田耕筰賞、木下記念金メダル受賞。現在、宗教曲から日本歌曲、オペラ/オペレッタ、現代曲など国内外で幅広い演奏活動を行っている。サンクトペテルブルグのスマルヌイ音楽堂にて、オブラスツォワとジョイントリサイタル(伴奏:ゲルギエフ、1997年)。聴衆総立ちのスタンディング・オーヴェイションを受け、現地の各新聞批評にて絶賛された。マリンスキー劇場で開催された第1回エレナ=オブラスツォワ国際声楽コンクール(総裁:ゲルギエフ、1999年)の公式ゲスト・特別審査員。開会記念コンサートではゴルチャコワらと共演。第4回の同コンクールや、奏楽堂日本歌曲コンクール他の審査員も務めている。最近のCDは大中恩 愛の歌曲集「こんな静かな晩は」、ヴォカリーズ集「サン・パロール」がビクター・エンターテインメントから、また、木下牧子歌曲集「心の歌をあなたへ」などが発売された。本学・同大学院特任教授。青の会会員。

ジャズピアノ講座 I・II

椎名 豊 (しいな ゆたか)



本学作曲学科卒業。1991年、ロイ・ハーグローブ(tp)と日米混合ユニット「ザ・ジャズ・ネットワークス」を結成。1996年「エルヴィン・ジョーンズ(ds)ジャズ・マシーン」に参加。2003年よりチョン・ミョンフン、ヒュー・ウルフ、エリック・カンゼルらの指揮のもと、東京フィルハーモニー交響楽団と共演、定期演奏会に出演。ガーシュインのピアノ・コンチェルト他を発表。これまでに多くのリーダー・アルバムを発表、最優秀新人賞他、数々の賞を受賞。アメリカ、ヨーロッパのツアーも毎年、大成功をおさめている。縦横無尽にスイングする椎名のピアノタッチは唯一無二の個性とイマジネーションにあふれ、世界中の音楽ファンを驚嘆させている。

クラシックピアノ講座

久元 祐子 (ひさもと ゆうこ)



©A.MUTO

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ウィーン放送響、ラトビア国立響、読響、新日フィル、ウィーン・サロン・オーケストラなど内外のオーケストラと多数共演。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。イタリア国際モーツァルト音楽祭にたびたび招かれリサイタルを開催。ブロードウッド、プレイエル、エラルールなど19世紀オリジナル楽器を所蔵し、それら歴史的楽器を用いての演奏・研究にも取り組む。国立音楽大学創立90周年記念事業 楽器学資料館ピアノプロジェクトとして開催されたレクチャーコンサートで歴史的楽器5台を使用したコンサートに出演。2016～22年、モーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズを開催。これまで「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞 特薦盤、レコード芸術特選盤)などCD16作をリリース。「ベートーヴェン：“テレーゼ”“ワルトシュタイン”」は、グラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を得る。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に『作曲家が愛したピアノからアプローチする演奏法～ベートーヴェン～』『モーツァルトのピアノ音楽研究』(音楽之友社)など。本学教授。 <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

ミュージカル講座

中西 聡 (なかにし そう)



エンターテインメントプロデューサー/茶道家(平安朝茶道「淹茶道」二代目宗師宗家家元) 早稲田大学卒業。本学講師。英国 St Andrews 大学留学。大学卒業後、東宝ミュージックに所属。

「レ・ミゼラブル」「エリザベート」など多くの東宝作品の公演に関わる。2005年ジェー・ピー移籍。今井清隆、鈴木壮麻、井料瑠美、大鳥れいをはじめ数多くの舞台系アーティストのプロデュース、アニメ原作ミュージカル『蒼穹のファフナー』(博品館劇場)、『ディス・ワンダーランド』(青山円形劇場)、音楽劇『ベートーベン先生の曖昧日記』(新橋演舞場別館)などを手掛ける。2021年度くにおんミュージカル『いのちの森』公演、2022年度くにおんミュージカル『回転木馬』公演の制作を担当。エンターテインメントプロデューサーとして活躍する傍ら、茶人としても海外に招聘され、平安時代の茶・薫物を伝承する「淹茶道」の家元として活動中。

音楽基礎理論講座 ～楽典・和声・対位法とコラール～

< I 楽典 >

岩河 智子 (いわかわ ともこ)



本学作曲科首席卒業、同大学院音楽理論科修了。東京と札幌で、音楽理論による演奏指導・講習会を多数開催。特に札幌室内歌劇場の音楽監督として30年に渡り音楽理論に立脚したオペラ作りを展開。作曲家としては、オペラ「青い鳥」「小人の靴屋」合唱組曲「かなしいおとなのうた」「おとなのための童謡曲集」など多数の作品がある。本学・同大学院元講師、札幌室内歌劇場音楽監督。

< II 和声 >



森垣 桂一 (もりがき けいいち)

東京藝術大学作曲科卒業。1975 年よりパリ国立高等音楽院で音楽理論と作曲を学ぶ。第 42 回日本音楽コンクール作曲部門第 1 位受賞。第 27 回ヴィオッティー国際音楽コンクール作曲部門入賞。平成 11 年度芸術祭優秀賞受賞。本学大学院教授、東京学芸大学特任教授、東京藝術大学作曲科、桐朋学園大学音楽学部等の講師を歴任。音楽之友社より解説と楽曲分析を担当したミニチュア・スコアが多数出版されている。

< III 対位法とコラール >



市川 景之 (いちかわ かげゆき)

東京藝術大学作曲科卒。1993 年よりパリ国立高等音楽院に学び、高等和声、対位法、フーガ、管弦楽法の各科をプルミエ・プリで修了。エコールノルマル音楽院室内楽科（歌曲ピアノ）修了。M.ピッチュ氏のアシスタントもつとめる。本学客員准教授、東京藝術大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。日本作曲家協議会、日本ソルフェージュ研究協議会会員。二期会フランス歌曲研究会ピアノ会員・運営委員。作品にはフランス語の声楽曲が多い。著書に「メソッド・ソルフェージュ」（共著）、「歌って・書いて・弾いて学ぶ和音唱」（ともに音楽之友社）がある。

総合ソルフェージュ講座

今村 央子 (いまむら ひさこ)



東京藝術大学作曲科、同大学院ソルフェージュ専攻修了。パリ国立高等音楽院エクリチュール科、ピアノ伴奏科卒業。帰国後は作曲家・ピアニストとして幅広く活動。近年の作品としては、《Hop Step Jump!》(Perc.Quartet 「第 49 回 国立音楽大学打楽器アンサンブル定期演奏会」委嘱作品として 2018 年 10 月初演)、《枕草子組曲》(ドイツ語宮谷尚実教授とのコラボレーションによる)、《をちこち》(Vn. Vc. 2021 年) 等がある。また、《ピアノとうたおう やさしいソルフェージュ》(共著 Hustle Copy 2023 年 3 月) 等ソルフェージュ・音楽理論分野の課題作曲・執筆・講演・ワークショップ等を多数行っている。現在、本学教授、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本作曲家協議会理事。

作品分析講座



森垣 桂一 (もりがき けいいち)

音楽基礎理論講座 < II 和声 > を参照

幼児音楽教育講座



新谷 祥子 (あらや しょうこ)

本学卒業後、ミシガン大学打楽器修士課程修了。近年はマリンバで弾き歌うシンガーソングライターとしてアルバム制作多数。打楽器奏者として現代音楽から邦楽、ロック、ポップス、民族音楽、舞踊などと多くの共演を重ねている。北村想戯曲による朗読劇や寺山修司音楽祭で作曲演奏。2019年、初の翻訳絵本（「たてる」「こわす」福音館書店）を手がける。文化庁による芸術家の派遣事業として打楽器ワークショップを継続。高校音楽教科書にボディーパーカッション曲執筆。本学と東京家政大学児童学科で非常勤講師。2017年青森県文化賞受賞、2022年青森県褒賞受賞。



伊藤 仁美 (いとう さとみ)

国立音楽大学音楽文化教育学科准教授、幼児音楽教育専攻代表。博士（音楽）。横浜市出身。国立音楽大学卒業、同大学院音楽教育学専攻修了。こども教育宝仙大学、宝仙学園幼稚園リトミック講師等を経て2018年より現職。保育者のための音楽表現講座を数多く行っている。共著に『1～5歳児がよろこぶ保育ではじめてリトミック』、監修に『豊かな音楽表現を育てる幼児のリトミック』（DVD全3巻）等がある。



宇佐美 明子 (うさみ あきこ)

東京藝術大学大学院美術研究科修了。ガラス面に漆を焼き付け加飾した作品などを発表。学部卒業制作、大学院修了制作ともに漆工奨学賞受賞。大学院在学中に制作した作品が、Corning Museum(New York)のパーマネントフィルムとして保存される。大学院終了後、Pilchuck Glass School (Seattle) Special course の奨学生として学んだ後、「芸術教育による人間形成」に関心を持ち論文発表や研修会などを行う。共著には『子どもの表現を見る、育てる 音楽と造形の視点から』『おいつめられる男の子 どっちつかずの女の子』などがある。本学には1996年より勤務、現在に至る。本学教授。大学美術教育学会、日本保育学会会員など。



大橋 さつき (おおはし さつき)

和光大学教授。博士（学術）。本学講師。専門は、ムーブメント教育、身体表現論、舞踊教育学。障がい児支援、子育て支援、保育・幼児教育等の現場で、身体表現や創造的な遊び活動によるプログラムの実施及びスタッフ研修を展開。共生・共創をめざした舞台づくりへの挑戦も継続中。著書に、『発達障がい児を育む「創造的身体表現遊び」の実証的研究』（多賀出版）、『発達障がい児の育成・支援とムーブメント教育』（大修館書店）など。



葛西 健治 (かさい けんじ)

青森県出身。国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院修士課程修了。同音楽研究所ベートヴェン研究部門研究員を経て、博士後期課程を単位取得退学。博士後期課程在学中、交換留学生としてウィーン国立音楽演劇大学に留学。声楽を佐藤峰子、久岡昇、福井敬、Walter Moore、Claudia Visca、音楽学を磯山雅の各氏に師事。オペラ、宗教曲等のソリスト出演の他、親子のためのアウトリーチ・コンサートに意欲的に取り組む。現在、こども教育宝仙大学准教授、国立音楽大学及び青山学院大学非常勤講師。

音楽科教育講座



新谷 祥子 (あらや しょうこ)

5 ページを参照



今藤 長龍郎 (いまふじ ちょうたつろう)

長唄三味線演奏家。1969 年生まれ。1979 年今藤綾子師に入門。1985 年今藤長龍郎の名を許される。1991 年東京藝術大学邦楽科長唄三味線専攻卒業。以後、国立劇場、歌舞伎座、紀尾井ホール公演、NHK 等に出演。2014 年スイス・ハンガリー・ポーランドにて国際交流基金主催「歌舞伎舞踊と素浄瑠璃」タテ三味線を勤める。作曲も手掛けており、「うれしやかぶき」(NHKE テレ「にほんごであそぼ」、現在放映中)、「波濤を越えて」(中村吉太郎・影山拓也・嶋崎斗亜南座公演、2022 年) 等がある。2021 年、自身初のリサイタル「今藤長龍郎の会」開催。

文化庁主催「令和元年度 芸術教科担当教員全国研修会(中・高教員)」日本伝統音楽(三味線)講師担当。長唄三味線演奏家・指導者両方の経験を生かし、小・中・高等学校にて三味線体験指導を行っている。本学講師。



河合 紳和 (かわい のぶかず)

静岡大学教育学部卒業後、横浜国立大学大学院教育学研究科を修了。桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究生として指揮を専攻。静岡県公立高等学校教諭を経て、令和 2 年度より国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文化庁参事官(芸術文化担当)付教科調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官。



小島 綾野 (こじま あやの)

音楽ライター、音楽科教育ジャーナリスト。1982年埼玉県生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業。(株)音楽之友社にて月刊誌『教育音楽』編集を担当後、2014年独立。音楽・教育に関する書籍及び雑誌記事の企画・取材・執筆等を手がける。月刊誌『教育音楽』『バンドジャーナル』、ウェブマガジン『ONTOMO』等に執筆多数。共著に『音楽の授業で大切なこと～なぜ学ぶのか？何を、どのように学ぶのか？～』（東洋館出版社）。



星野 隆行 (ほしの たかゆき)

本学演奏学科鍵盤楽器専修（ピアノ）卒業。川崎市立中学校の非常勤講師を経て、株式会社音楽之友社に入社。出版部楽譜課にて主に合唱楽譜の編集に従事したのち、月刊誌『教育音楽』編集部に移動。2017年10月から同誌編集長。



三宅 博子 (みやけ ひろこ)

本学准教授。大阪音楽大学卒業後、障害者施設でケアワーカーとして働きながら、日本音楽療法学会認定音楽療法士、兵庫県音楽療法士資格を取得。神戸大学大学院修了(学術博士)。2020年より現職。背景や音楽経験の異なる人々による参加型音楽活動を実践し、多様な人々が共に生きることと音楽との関わりについて研究する。おとむすび「おながくクラブ」世話人。このわ音楽臨床研究対話会共同主宰。



吉原 佐知子 (よしはら さちこ)

東京藝術大学邦楽科生田流箏曲専攻卒業。NHK邦楽技能者育成会卒業。現代邦楽研究所第1期卒業。同所にてビクター邦楽技能者育英賞受賞。全国高校生邦楽コンクール準優賞。賢順記念全国箏曲コンクール銅賞、奨励賞受賞。NHKオーディション合格。現在、洗足学園音楽大学現代邦楽コース非常勤講師。弘前大学非常勤講師。現代邦楽研究所講師。東京都市大学等々力中学高等学校箏曲部講師。川村学園中学高等学校箏曲部講師。

リトミック講座



新谷 祥子 (あらや しょうこ)

5 ページを参照



伊藤 仁美 (いとう さとみ)

5 ページを参照



井上 恵理 (いのうえ えり)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院卒業。
(ダルクローズライセンス、ディプロマ取得) その後、同音楽院にて専門コースのリ
トミック、即興演奏、子どものクラスのリトミック講師、及びジュネーヴ高等音楽院
で即興演奏の講師をつとめる。現在、本学教授。日本ジャック＝ダルクローズ協会副
会長、全日本リトミック音楽教育研究会本部講師。「リズムの森」総合指導主任他。



木島 タロー (きじま たろー)

1 ページを参照



©NPO 法人 芸術家と子どもたち

楠原 竜也 (くすはら たつや)

演出振付家／ダンサー／ファシリテーター。玉川大学文学部芸術学科卒業。在学中にロンドン・ラバンセンターに留学。東京学芸大学大学院教育学研究科総合教育開発専攻修士課程修了。『多くの方に HAPPY を届ける』をテーマに作品を創作。国内だけでなく、ニューヨークを始め海外でも公演を行なう。幼稚園・保育園・小中高等学校、児童養護施設等へのアウトリーチや、親子、幼児から一般の方への公募ワークショップも積極的に取り組み、表現活動と教育活動を同時に実現することを目指している。玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科准教授。



佐藤 温子 (さとう あつこ)

本学音楽教育科リトミック専修卒業。横浜市立すみれヶ丘小学校、本学附属小学校の教諭を経て、2010 年スイス、ジュネーヴ高等音楽院へ留学。2012 年ミュージック＆ムーブメント科、2014 年同大学院リトミック・ジャック・ダルクローズ科、(ダルクローズライセンス取得) 2015 年同大学院学校教育科卒業。その後、2016 年より2年間ベトナム・ホーチミン日本人学校にて音楽専科教諭として勤める。現在、本学及び本学附属小学校、並びに和洋女子大学校非常勤講師。音楽教室リズムの森講師。ダルクローズ・リトミック浜松研究会講師。福岡ダルクローズスタディ VIVACE 講師。日本ダルクローズ音楽教育学会会員、日本ジャック＝ダルクローズ協会会員。



佐藤 邦子 (さとう くにこ)

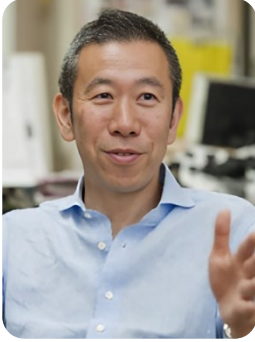
本学音楽学部音楽教育学科卒業。ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院修了、ダルクローズライセンス取得。本学大学院音楽学(音楽療法)専攻修了。現在、東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科准教授。保育者養成、子どもから音楽指導者、保育者を対象としたリトミック教育を実践している。日本ダルクローズ音楽教育学会常任理事、日本ジャック＝ダルクローズ協会副会長、全日本リトミック音楽教育研究会本部指導講師を務める。



清水 あずみ (しみず あずみ)

ボストン・ロンジー音楽院大学院リトミック専攻修士課程修了。同ピアノ専攻修士課程修了。ダルクローズ国際サーティフィケート及びダルクローズ国際ライセンス取得。ボストンの音楽学校やプリスクールでリトミックを指導した後、帰国。日本でも幼稚園や音楽教室、専門学校などで子どもから大人までリトミックを教える。現在、本学講師。日本ダルクローズ音楽教育学会会員、日本ジャック＝ダルクローズ協会会員。

高倉 弘光 (たかくら ひろみつ)



北海道教育大学教育学部卒業。ニューヨーク・ダルクローズ音楽学校卒業（ダルクローズ国際ライセンス取得）。現在、筑波大学附属小学校教諭。筑波大学、前橋国際大学非常勤講師。学習院大学、國學院大学ほかでゲスト講師を務める。NHK 教育番組「音楽ブラボー」「名曲アルバム+」「フライデーモーニング・スクール」「ウワサの保護者会」などの制作および出演。文部科学省・国立教育政策研究所研究協力委員などを歴任。教育出版教科書「音楽のおくりもの」著者。著書に「〔共通事項〕が見える 子どもがときめく音楽授業づくり」（東洋館出版）、「こども・からだ・おんがく 高倉先生の授業研究ノート」（音楽之友社）など多数。

丹原 要 (たんばら かなめ)



東京学芸大学卒業、日本大学芸術学部博士前期課程修了。フランス音楽コンクール＝関西（2004 年）第 1 位。「リズムの森」講師、ジャック＝ダルクローズ作品研究会メンバー、日本ダルクローズ音楽教育学会会員、日本ジャック＝ダルクローズ協会会員。カワイ出版「ダルクローズ、ピアノ連弾曲集」、「ダルクローズピアノ曲集Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」共著。ジャック＝ダルクローズ作品の演奏や研究、語りと音楽のための作品の上演、無声映画の伴奏に力を入れている。

中明 佳代 (なかあき かよ)



1997 年本学音楽教育学科リトミック専攻卒業後、2000 年スイス、ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院に留学。2002 年にリトミック国際ライセンス取得、2007 年にディプロマを取得。同時期にジュネーヴ音楽大学の作曲科にも在籍し、2008 年作曲ディプロマを取得。2010 年日本帰国まで、スイスで子どもから大人までのリトミック並びにピアノを指導。現在、本学講師、音楽教室「リズムの森」、「ジャックと音楽の木」講師。日本ジャック＝ダルクローズ協会理事、日本シニアの為のダルクローズリトミック研究会代表、日本ダルクローズ音楽教育学会会員。

吉原 佐知子 (よしはら さちこ)



7 ページを参照